会 議 録

会 議 の 名 称	宍粟市特別職報酬等審議会（第1回）	
開 催 日 時	令和3年10月15日（金）10時00分から11時35分まで	
開 催 場 所	宍粟市役所 5階 502会議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	会長 小林 晋八	
委 員 氏 名	（出席者） 川本こず江委員、福山千鶴委員 尾島正夫委員、久崎正博委員	（欠席者） なし
事 務 局 氏 名	総務部 前田部長、砂町次長 総務部総務課 菅野課長、岩本係長 議会事務局 小椋係長	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	☒ 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（決定事項、概要等） ・会長に小林委員、職務代理者に川本委員を選出。 ・本審議会は、公開の会議とすることを決定。 ・事務局が資料の説明を行った後、委員から質疑、意見を聴取。 ・次回の日程、場所については、次のとおり 11月2日（火）13時30分～ 市役所5階502会議室 ・次回の資料として、次のものを準備 政務活動費の申請状況が分かる資料 豊岡市など人口等の指標に近い団体と比較した資料 期末手当、加算率等を加味した年収で比較できる資料 宍粟市誕生以降の人口の増減が分かる資料	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 （記名押印）	（委員長等） _____ 会長 小林 晋八 ㊟	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
部長	1. 委嘱書の交付 2. 市長あいさつ 3. 委員の紹介（あわせて事務局職員の紹介） 4. 会長及び職務代理者の選出 それでは、次第4の会長及び職務代理者の選出についてですが、事前配布資料2ページの「宍粟市特別職報酬等審議会条例」第4条に、「会長は委員の互選による」とあります。互選ということで、委員の皆様からご意見をいただければと思いますがいかがでしょうか。
部長	最初の会議ということもあり、意見も出にくいかと思われま。事務局のほうに一任いただいてもよろしいでしょうか。
委員	(異議なしの声あり)
部長	それでは、小林委員を会長に推薦させていただきたいのですが、委員の皆さまいかがでしょうか。
委員一同	(異議なし)
部長	ありがとうございます。 続いて職務代理者につきまして、同じく条例第4条第3項に、「会長の指定する委員」と規定されていますが、これもなかなか指名いただきにくいと思われる。事務局のほうで進めさせていただいてもよろしいでしょうか。
委員一同	(異議なし)
部長	それでは、川本委員を指名させていただきたいのですが、よろしいでしょうか。
委員一同	(異議なし)
部長	ありがとうございます。 それでは、小林会長と川本職務代理者におかれましては、お手数ですが席の移

	動をお願いします。 (小林委員、川本委員の座席移動)
部長	5. 諮問及び諮問内容の趣旨説明 それでは、次第5の諮問及び趣旨説明について、市長から会長へ諮問書を提出させていただきます。
市長	(諮問書の朗読、会長へ提出)
会長	確かにお預かりしました。各委員さんと慎重審議をさせていただきます。
部長	ただいまの諮問書は、写しを配布しておりますのでご確認をお願いします。 ここで市長につきましては、当事者ということもあり、退席をさせていただきます。 (市長退席)
部長	6. 資料の説明及び質疑応答 次に、次第6に入りますが、その前に本審議会の公開・非公開について、お諮りします。事前配布資料3ページの「宍粟市附属機関等の設置及び運営に関する要綱」第6条の規定により、本審議会は、原則として公開するものとありますが、会議を公開することにより、率直な意見の交換や、意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがある場合は、会議の全部または一部を非公開とすることができます。このことについて、ご意見をいただければと思いますが、委員の皆さま、いかがでしょうか。
小林会長	事前配布資料を見たところ、最近は公開が続いていることもありますので、今回も公開で皆さんいかがでしょうか。
委員一同	(了承)
部長	では、公開という意見をいただきましたので、本審議会は、公開とさせていただきます。また、本審議会の会議録につきましては、委員さんの氏名を黒塗りにした形で、ホームページ等で公開させていただくこととなりますが、ご了承願います。 それでは、ここからの進行につきましては、小林会長からお願いいたします。
小林会長	はい、それでは次第6の資料の説明及び質疑応答について、事務局から説明を

事務局	お願いします。資料が多いのですが、一括して説明をお願いします、疑問に思うところはメモをしていただくなどして、後ほど、質疑の時間を設けます。それでは、説明をお願いします。 (事前配布資料、当日配布資料の説明)
●●●●	ありがとうございます。大変たくさんの資料でした。 聞いていても分かるかどうか…、難しい資料でした。最初に申しあげましたように、何かこの資料等につきまして質問がありましたら、順次、発言をお願いします。
●●●●	質問させていただいてよろしいでしょうか。 現在、ワクチン接種をしていただいています。そこにたくさんの市職員さんが手伝ってくださっており、本当にスムーズな進行で、とても嬉しかったのです。本当に、にこやかに迎えていただけてすごく有難かったです。 そこでですが、職員の方は、出勤された形になりますよね。それに関しては、休日出勤手当とかっていうのが支払われているのですか。
事務局	休日の場合は、休日の出勤手当、いわゆる時間外手当というのを支給することになっております。ただ、ワクチン接種業務は、平日の木曜日にも行っていますけど、その場合については、勤務時間内となりますので、特に手当とかは発生しておりません。
●●●●	先ほどの資料説明の中で説明がなかったのですが、審議回数について4回、3回、1回と書いてあります。去年は1回ということですが、この1回の会議で終わったということですか。
事務局	事前配布資料の20・21ページをもう一度ご覧いただけますでしょうか。 今、●●●●が言われました昨年度の審議会が1回で終わった理由ですが、資料21ページの右側が令和2年度の内容になっております。 令和元年度と令和2年度の審議会については、同じ委員で開催しております。その会議で、令和元年度については、給料の月額と期末手当の支給割合、どちらについても、今回のような形で審議していただく場となっておりました。 ただ、令和2年度につきましては、期末手当の支給割合のことだけを、極端な言い方ですが、そのまま据え置くか、下げるか、そのことのみを議論していただきました。

	同じ審議会ですけども、お諮りしている内容が違っていた関係で、令和元年度については3回の審議で、令和2年度については1回の審議で、内容や方向性等を決めていただきました。その審議の後に、最終的に答申書を清書したものを、委員さんにお配りして、最終確認を行い、市長に手渡したという流れになっております。
●●●●	ほかに、質問をお願いします。
●●●●	事務局から、議員さんの出席状況についての説明があったのですが、上から2番目の集計のところでお聞きしたいと思います。 要は回数については、議会の定例会、臨時会と、あと委員会と、それのみということでしょうか。
事務局	おっしゃるとおりで、定例会、臨時会、それぞれの委員会の出席回数のみということですが、先ほども説明しましたように、例えば、議長に議会の代表として、出席案内があった分の会議等については、この中には含まれておりません。
●●●●	それでは、議会と語ろうというような会が年2回ですか、あったかと思いますが、これについては、カウントされていないということでしょうか。
事務局	おっしゃるとおりです。この会議の中には入っておりません。
●●●●	この出席日数の件ですが、(議員)報酬については、この日数と報酬とは、個人差というか差はないのでしょうか。出ただけは何か加算があるとか、そういうのは一切ないのですか。何回出席したとしても、それも含んでの報酬額とみなされているのでしょうか。
事務局	月額報酬ということで定められておりますので、出席日数等の回数は、関係ないというか、考慮されておりません。何回出ても、出なくても、報酬は一律で、月額で決められている額となります。
●●●●	報酬以外に、補てんにつながる手当的なものは一切ないのでしょうか。
事務局	いわゆる期末手当しかありません、一般職の職員のような諸手当というのは出ません。ただし、費用弁償として、いわゆる通勤手当的なものが実費で出ています。会議に出席されたら、出るようになっていきます。

●●●●	ほかに何かございませんか。
●●●●	議会の関係になりますが、政務活動費の関係についてですが、予算を置きながら執行率は半分ぐらいだと、資料に書いてあったと思いますが、現在の状況は、どうなっていますか。
事務局	1人「月15,000円×12か月」ということで、年18万円の支給ができるようになってはいますが、申請自体をされない会派や、議員さんもいらっしゃいます。特に、去年は、コロナの影響もありましたので、例えば、会派で行かれていた先進地視察等について行かれなかった部分もありまして、執行率は、去年はかなり低かった感じです。
●●●●	コロナの影響は分かりますが、活動されているのになぜ利用されないのか。
事務局	会派で活動された分について、使用されたものが政務活動費ということで提出されてくるわけですが、縛りがいろいろとありまして、全ての活動に対して使えるわけではないので、使用に関しては、使えるもの、使えないものということで、仕分けがあります。また、報告等も必要になります。その部分でちょっと、活動に対して請求をされなかった部分もあったのではないかと考えています。 また、会派によっては、全く申請自体をされない。活動はされているのですが、政務活動費は使わないという方針で申請自体をされないところもあり、執行率というか、申請された会派の方も2年度は執行率が低かったのかなという感じがします。
●●●●	私たちの目で見えるものとしては、ああいう、手紙とかを配られる枚数とかそういうものでしか、活動費というのはいえないんですけど、ああいう資料づくりとか、その資料をつくるための経費とか、そんなものが、お金にカウントして出されるかというような見方でよろしいのでしょうか。
事務局	今、●●●●さんが言われました個人の活動というものでは、あまり使われなくて、会派での活動で政務活動費は使うようにしております。チラシなど議会報告日よりして会派の報告として見られたことがあると思いますが、会派として活動されているものについては大丈夫ですけども、今の傾向としては、そういったものを出されている会派であっても、個人的に出されているものにつ

	いても、自費というか、政務活動費を使わないで、自分のポケットマネーで出されているのが多いかなという状況です。 と言いますのも、元々、政務活動費につきましては、第2の給料という指摘がありまして、報酬をもらいながら、それとは別に、好きに使えるお金をもらえらるということが、課題としてありました。本市の場合は、市になって初めてできた制度で、今まで町だったときは政務活動費がなかったので、市になったときに、つけるか、つけないかというところも（この審議会で）議論をしていただきました。都市部では、報酬が40万で政務活動費も同じように30万とかを出していたところもあったわけですが、本市では、月に15,000円ぐらいということで、月それぐらいだと、年間だったら18万円になる。それぐらいであれば、そういう活動に使ってもらってもいいのではないかということでスタートした経緯があります。 最初は、ほとんどの会派が、いろんな政務活動費を使われて報告もされていたのですけれども、最近、コロナの関係で先進地視察にも行けないことと、それから、やはり自由に何にでも使えるものではありませんので、ちゃんとした目的を持った取組みが必要ですし、議会としても報告書には、領収書をちゃんとつけることというような整理もされております。そういうこともあって、政務活動費については、使うことが少なくなっているというような状況です。
●●●●	私のほうから提案ですが、政務活動費につきまして、こういった状況にあるのかといった資料を、次回の会議で出していただければと思います。 ほかに御意見ございますか。
●●●●	「議会だより」から、意見を言わせていただきたいのですが、令和2年8月発行のVol. 60号にあったかと思うのですが、「政務活動費や委員会研修費の利用が少なくなったので、総額623万円削減しました。」というコメントがあったのですが、出来たらその623万円の内訳が分かるようであれば、教えていただきたい。
事務局	今、その60号が手元になく内容が分からないのですが、去年、コロナの関係で減額、例えば議員報酬や手当、その他政務活動費も含めてだったと思いますけど、減額補正して落とした部分があります。おそらく、その金額がおっしゃった623万円だったのかなと記憶しております。
●●●●	よろしいですか。 他に御意見はありますか。

●●●●	ちょっと資料を読んでいたのですがよく分からなくて、前回の議事録も見ているのですが、市長の給料が変わっていない理由の大きな原因は何でしょうか。
事務局	市長の給料については、一旦、合併以降上がったときがあって、先ほど説明したようにまた下がって、ということで、合併当初から比べると、2万円の変動となっています。このあたり、考え方がいろいろあると思いますが、宍粟市の場合は、他市町との比較といいいますか、まず他団体はどういう状況かという部分を、最初に決められたときには、議論になっていたのではないかと思います。その部分で、宍粟市の場合は、人口のこととか、行政がカバーする面積が広いとか、そういった事情を勘案し、それに必要な市長のふさわしい給料の額がいくらであるかということ協議していただく中で、この88万円というところに落ち着いたのではないのかと思います。 ただ、増減については、先ほど言いました人事院勧告、民間の状況と比べて、民間が上がった下がったというようなことも、やはり、判断の材料にはなってくると思いますので、そういったところも含めて、今のところは、大きな変動はないといいいますか、2万円の増額ということで推移をしているということになっていると思います。
事務局	事前資料の6ページを少し見ていただいたら分かりやすいかと思いますが、先ず、市長、副市長、教育長それから議長さんの報酬の17年4月の欄を見ると、市長が86万となっています。この額は、まだ市が発足する前に、4町合併協議のときに、取りあえず市発足時の市長の給料をいくらにしようかという協議の場があって、合併前の山崎町の町長の給料でいこうということでスタートし、市になってから、新たな市長が誕生したら、その10月に決めたらいいのではないかとということで、4月当初は86万円、10月に94万円となりました。やはり市になったら、他の県内市長の給料額とか、財政力とか、似たような市をみたら、それぐらいを出してもおかしくないだろうということで、報酬等審議会において、宍粟市長としての給料は94万円、副市長76万円、教育長68万5千円、議長46万2千円が適切であろうと…、これが市になったときの報酬額であったと思います。 その後、この表にも書いております人事院勧告で職員の給料勧告が出され、横のほうに書いていますが、平成19年ではマイナス0.35%、それから平成21年ではマイナス0.22%、職員の給料が下がっております。 人事院勧告で下がっているということは、国全体の経済状況が下がっていると

	ということで、職員給料も下がってくるわけですが、そういった状況をふまえ、平成22年に市長の報酬等を94万円出していたわけですが、これだけ社会情勢が変わってきて職員の給料も下がってきている状況ではもう一度見直さないといけないということで、報酬等審議会に諮り、88万円という現行の給料、報酬額と決定されております。 それから逆に、22年以降、一般職の職員の給料の人事院勧告率は、23年はマイナス0.23%ですが、その後は、職員の給料については少しずつ上がっている状況です。 これは、経済的にも少しずつ状況はよくなっているから、市長等の報酬等も上げたらいいのではないかという方向になっているわけですが、特別職、議員については、今のままの88万円という額を決めたときの状況からそんなに上げなくてもいいのではないかということが続いている。 逆に言えば、本来ならば、（報酬額を）上げたらよかったのかもしれないが、上げないで続けていっているという解釈をしていただければと思います。 ●●●● またお聞きしますが、県内で宍粟市に一番似ている市といえば豊岡市だと思います。それこそ、豊岡市が合併する前までは宍粟が1番、兵庫県の中で広い土地面積だったのですが、豊岡市が合併して、宍粟から安富が離れて、1番は豊岡市になったわけですが、財政力指数にしても、いろんな数字が似通っているわりには、人口が全然違う。宍粟市は3万人台だが豊岡市は8万人台ということで、でも市長の給料に関しては5千円しか変わらず、加えて、副市長と教育長は豊岡市より高い。そのあたり疑問に思うところがあります。市長が働いていないと言っているわけではありません。すごくコマメに動いてくださっているし、私にも、いつも挨拶をさせていただいているので、すごくいい市長だなと思っているのですが、先ほど挨拶で自らおっしゃっていましたが、雇用創生協議会の件に関しては全く関係ないと言えば関係ないのですが、皆さんも思っていらっしゃるように、市長としての責任というか、協議会の会長としての責任というか、そのあたりのことが、今までの会議で追及されたかどうか分かりませんが、ちょっと（会議録を）見ても載ってないと思います、反省もしていらっしゃるのでいいとは思いますが、ちょっと豊岡市より高いかなと。若干、そう思いますが、いかがでしょうか。 この場で御答弁が難しいようでしたら次回の時に資料で見せていただければありがたいと思います。
事務局	平成22年の報酬改定時には、豊岡市の状況も調べていますので、当時の資料等、次回に提出させていただきます。

●●●●

人口について、今は37,000人ですが、これは、先々、5年後を見てどう推移していこうという予測も多分されていると思いますので、公債比率の関係ですが、今は、確かに9.8%でいいと思いますが（表では）上りの矢印がしてある。ということは、今後、人口が減っていくことによって、納税者が少なくなる、ましてや高齢化社会というようなことで、この辺り考えると財政的に非常に厳しいかなと思います。

将来、その辺りはどうなってくるか分からないことですが、分かる範囲でいいですから、教えていただきたい。

●●●●

分かる範囲で答弁をお願いいたします。

事務局

人口につきましては、今後、こういう全国的な状況ですので、宍粟市の人口についても将来的には減少傾向が続くだろうということが予測されております。

そこで、将来的な財政の見通しについても、財政部局のほうで大まかな見通しについては作成はしておりますけども、この健全化指標の実質公債比率や将来負担比率、これらの将来的な見込みについては、先ほども申しましたように、ここに書いている2021の欄が、令和元年度決算に基づく数値になっており、令和2年度決算に基づく数値も出ております。その数値で申しますと、先ほども申しましたが、実質公債比率については7.9%、将来負担比率については83.7%ということですので、将来的には概ねこれぐらいの数値で当分の間は推移するだろうと…、人口が減ってもこれぐらいの数値で推移する見込みであります。

また、これが仮に10%になったら悪いかというと、先ほども申しましたように、財政健全化の計画策定が求められるのが25%となっており、この実質公債比率が18%になったら借金をするときには国の許可が必要になってくるということで、現在はその半分以下であるということからすると、財政について非常に余裕はあるかといわれれば、当然財政状況は厳しいといえますが、健全化法で定める危惧されるようなことにはまずならないだろうと見込んでいます。

●●●●

それでは私のほうから関連して、今の質問では元年度の決算に基づいた数値が9.8%、116.3%という説明で、令和2年度決算に基づいたものが7.9%、83.7%ということですが、税収の対象となる人口の減り具合といいますか、そういったものがわかりますか。今、分からなければ、また次回にお願いをしたいなと思いますが、増えたりはしていないと思いますがどうでしょうか。

事務局 ●●●●	住基人口でいうと年間700人前後は、ここ数年毎年減っていったような状況だと認識しております。 はい、ありがとうございます。
事務局 ●●●● ●●●● ●●●●	市では、住民基本台帳というのがあり、それで人口を把握しており、その資料がありますので、次回、提供するようにします。 よろしくお願ひします。 ほかに御意見ございませんか。 今の人口に関連してですが、出生率も非常に少ないと思います。そこで、地域おこし協力隊の話をよく聞きます。隊員は3年が期限だと思いますけど、それ以後、帰られているのか、Iターン（アイターン）で宍粟市に残ってくれているのか。1人でも残ってもらえれば人口が増えるだろうと思いますので、その状況について分かれば教えてください。 分かりますでしょうか。 このことにつきまして、私の方からちょっとお伝えをしたいと思います。野尻自治会のほうで、元地域おこし協力隊で、しーたん放送によく出てくれております加藤智子さん。加藤さんは早くに契約が切れているんですけども、ずっと野尻に住みますという事で、定住されています。当然、本来ならば自治会費等々徴収するべきところではございますけども、その功績が多々ありますので、自治会費については免除ということにしています。また、有害駆除に尽力いただいておりますが、その免許の更新等々について費用がかかりますので、自治会の方から2万円を交付しているというような現状もございます。続きについて、事務局からお願いいたします。
事務局	●●●●から報告がありました加藤さんの場合は、宍粟市で2人目の協力隊として、京都から来てくれました。地域おこし協力隊については、当時3年任期で、いくら良い人でも3年という期間が終われば市との契約はできないということになっていました。加藤さんは、最初の3年間の活動の中で地域と一緒に、スポーツを通じての健康づくりの講座を行ったり、狩猟の免許を取ったりして、その過程を経たうえで、協力隊を卒業してからも宍粟市に残って、それをベースにして、今も定住されています。これは、理想的なパターンだと思います。

	ただ、誰しもがうまく仕事を見つけて…というわけではないので、契約期間が終わったら、宍粟市から元におられた場所に帰られるという方もいらっしゃいます。みんながみんな、加藤さんのように残っていただいているわけではないことは事実ですけども、基本としては、契約が切れても、そのまま残っていただければ地域も元気になっていくかなと思いますので、そういう方向で市もサポートといいますか、応援している状況です。
●●●●	はい、ありがとうございます。 さらに私のほうから申しますと、現在、波賀町飯見に協力隊の片山さんという、既婚者の方だったと思いますが、来られています。大変、波賀町を気に入っていただいて定住をするつもりで用地を購入して家を建てようかと計画をされておるようです。波賀町のどこに魅力を感じられたのかなということで、一度講演会をしてもらった話も上がっており、大変ありがたいと思っております。
事務局	先ほどの補足ですが、3年の契約が終わっても引き続き宍粟市に残って活躍をしていただきたい思いから、市も、地域おこし協力隊の方が新たに任期を終えて起業される場合に、補助金を交付する制度を設けています。それを活用されて実際に残られている方もありますし、来年の春に契約が切れる予定の方も、補助金を使って御家族で、そのまま引き続き残られるような計画もされておりますので、市としてもできるだけ残っていただきやすいような、サポート体制等の構築にも努めております。
●●●●	はい、ありがとうございます。 ほかに御意見はありますか。
●●●●	人口増加の一つの希望が森林大学校だと思うのですが、私は森林大学校の委員を務めていて、先日も会議があり、なかなか定員全部が埋まらない状況ですけども、中には、市外からの在学もありますし、県外から来られてもそのまま就職とかもしていただけるような場合もありますので、引き続きその協力を、市長公室の方々とともにやっていただけたらありがたいと思いますが、その件に関してここにおられる事務局の皆さんは、どうお考えでしょうか。
事務局	その点につきましては、市としてもせっかく誘致したので極力活用していきたいということで、大学校として生徒が来やすいことが大切なので、地元の御協力を得ながら空き家を借りて、宿の確保を行っています。今年度も、女性の学生用の家が来年に向けて不足するだろうということで、一宮のほうで1軒お世

	話になり、その家の改修を今年中にして、来年4月に新しく女性の学生が来ても大丈夫となるよう体制づくりに努めているところです。それから、希望として、大学校の卒業生には市役所を受験していただいて、当然、成績によりますが、採用していきたい思いもあります。 現在のところ、1人は大学校の卒業生も市職員として頑張っておりますので、やはり、宍粟市は森林の町ですので、そこで特殊な専門的な技術を持った卒業生が、これからも、特に宍粟の森林を担っていただきたい思いを持っております。市としても、引き続きバックアップしていきたいと考えております。
●●●●	はい、ありがとうございます。 ほかに御意見ございませんか。
事務局	●●●● 事前資料の1番最後ですが、他市との比較、特別職、議員の比較がありますが、他市との比較をするのであれば、当然、順位とかも必要かと思えます。特に、独自カットされている団体が7つ、8つあるかと思えます。ということは、実質の金額に対しての順位付けもしていく必要があるのではないかと。名目ではなくて、実質のカット後の金額と宍粟市の額との比較ということで押さえていけたらどうかと思えますが、いかがでしょうか。 資料A3の分についてですが、減額措置後の月額として、例えば市長のところでは言いますと、神戸市だったら条例上は141万円ですが、減額措置後は112万8,000円となっております。これについて、もう少し補足が必要だったので申し訳なかったのですが、この資料は、令和3年8月1日現在で調査したものになっています。それで、特に去年から今年にかけてとなりますが、コロナのことがありまして、今回の資料には出ていませんが、減額措置をされていた団体が他にも多くありました。宍粟市でも、市長、議員等について、昨年6月から8月にかけて、コロナに関連し、報酬の減額措置をとっています。 よって、全てとは言えませんが、ここに書いてある団体のほとんどがコロナに関連し減額措置をされております。もちろん、それで比較すること自体は直ぐに可能なのですが、事務局としましては、条例上の金額、もしそういった減額措置がなかった場合の本来の金額、言い方はふさわしくないかもしれませんが、本来の金額としてどれぐらいの額が適正なのかということで、比較・審議していただきたいという思いがあります。もし、減額措置の額を入れてしまうと、たまたま8月1日現在の額になってしまうということもあり、7月末まで減額されていた団体は比較の対象にしないこととなりますので、その部分を少し踏まえていただいたうえで議論いただきたいと考えています。

●●●●	●●●●よろしいでしょうか。
●●●●	良く分かりました。
●●●●	ほかに御意見ございますか。
事務局	先ほどの減額措置後の月額表ですが、少し補足説明をさせていただきます。給料については、そこに書いてあるとおりですが、その右側の特別職の期末手当も各市町で大きく変わっています。また、その横の期末手当の加算率という欄もございます。これは、計算上加算する利率、これも10%のところから45%のところまでありますので、給料金額が一緒でも、こういった加算率が変わると支給される総額はここでも大きく変わってくるということも参考にご覧いただきたいと思います。また、減額措置をされているところについては、期末手当の算定基礎となるのは減額前の額が基礎になりますので、本来の額を変えてしまうと、そこまで影響するということにもなりますので、そういった点についても念頭に置いていただければと思います。
事務局	今回の会議で年収ベースで比較したものを、改めて資料として提示させていただきます。
●●●●	よろしく願いをいたします。 ほかに御意見はございませんか。 意見が出尽くしたのかなというふうな雰囲気もございます。 開会してから1時間半が経過しようとしておりますが、もしよろしければ、次第の7番に進めさせていただいてもよろしいですか。
委員一同	(了承)
●●●●	7. 確認事項等 それでは、次に進めさせていただきたいと思います。 事務局お願いします。
事務局	次第7の確認事項ということで、次回日程等の確認をさせていただきます。 今後の日程は、11月2日火曜日、午後1時30分から、場所は同じくこの5階502会議室となります。よろしくお願いいたします。

	あわせて、先ほどご意見をいただきました資料について、事前に会議の場でお渡しできるように、作成します。 確認ですが、政務活動費の関係資料、あと豊岡市をはじめ指標が似通った団体と比較をした資料、また先ほどありました期末手当の支給月数や加算率を踏まえて年収ベースで比較できるような資料、それから、市内人口のデータ資料について、追加資料として作成し、提供するようにします。 もし他に何かありましたらおっしゃっていただきたいと思います。 よろしくをお願いします。
●●●● 事務局	はい、ありがとうございます。 私のほうから一言、お尋ねをいたします。 議事録の作成にあたり、議事録署名委員の選出はいいのでしょうか。 議事録につきましては、この後、速やかに作成させていただきまして委員の皆さまに事前にお送りさせていただきます。そして、次回の会議の中で、委員全員に会議録の確認を行うこととさせていただきたいと考えております。 よろしくをお願いします。
●●●● 委員一同	はい、了解をいたしました。 それでは、何か御意見がございましたら、今、御発言をいただきまして、もし、ないようでしたら閉会のほうに移らせていただきますがよろしいでしょうか。
小林会長	(了承) 8. 閉会 御意見、御発言がないように思われますので、本日の会議を閉会させていただきます。 それでは、川本職務代理者さんから、閉会の御挨拶をお願いいたします。
川本職務代理	今日は、長時間にわたりご審議いただきまして本当にありがとうございました。初めての会議ということもあって、戸惑うこともあったと思いますが、無事に終わることができまして、ほっとしております。 あと2回若しくは3回ほど開催されるかもしれませんが、お忙しいところ大変恐縮ですが、皆さまよろしくをお願いいたします。